会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 総務文教分科会		会議場所 全員協議会室
			担当職員 数井
日 時	令和6年9月17日（火曜日）	開 議	午後 3時 9分
		閉 議	午後 4時 4分
出席委員	◎小林 ○竹内 浅田 原野 松山 三上 山本 福井		
執行機関出席者			
事務局	数井事務局次長		
傍聴	☒ 可・否	市民 0名	報道関係者 0名 議員 0名（）

会 議 の 概 要

15:09～

1 開議

【事務局日程説明】

<事務局次長>

本日は、事務事業評価選定事業の論点整理を願う。事務事業評価は、事業の目的や手法、成果、コスト、方向性を視点として評価を行っていただくが、時間の制約もあるため、事前に論点とすべきことを委員間で整理しておく必要がある。当日、この論点に沿った質疑を行い、限られた時間の中で適切な評価ができるよう、本日から、論点整理を願うものである。

2 案件

○事務事業評価選定事業の論点整理について

<小林委員長>

それでは、事務事業評価選定事業ごとに、論点を整理願う。

(1) 情報化推進経費

【事務局から論点整理資料の説明】

【執行部提出の評価資料の確認】

<小林委員長>

論点について意見あるか。

<福井委員>

RPAの導入により職員にどのような時間的余裕ができたのかが論点になると思う。

<三上委員>

論点整理資料の選定理由欄を参考とすればよいと思う。例えば、デジタルファースト宣言により、市民サービスがどれだけ向上したのかが一点。AIやRPAなどを

活用することで市内のデジタル化がどこまで進んだのかが二点。このような論点かどうか。

<小林委員長>

それでは論点として、デジタルファースト宣言をした本市において、どれだけ市民サービスが向上したのか、と、AIやRPAなどICTの有効活用により、庁舎内のデジタル化はどこまで進んだのか、としてよいか。

—全員了—

15:26

(2) 不登校対策経費

【事務局から論点整理資料の説明】

【執行部提出の評価資料の確認】

<小林委員長>

論点について意見あるか。

<福井委員>

不登校が全国的に増えている中で、どういう施策が必要なのか。

<竹内副委員長>

不登校対策として、フリースクールへの補助や別室教室の開設などがされているが、そういった教育の提供を広げることも必要ではあるものの、やはり、未然防止と早期発見が大切と思う。

<小林委員長>

それでは論点として、不登校に対する未然防止、早期発見に比重をおいた施策とは、としてよいか。

—全員了—

15:43

(3) 情報教育推進経費

【事務局から論点整理資料の説明】

【執行部提出の評価資料の確認】

<小林委員長>

論点について意見あるか。

<三上委員>

一人一台の環境は整ったが、よりよい事業に活用されるための環境整備はどうなっているのか。

<松山委員>

不登校対策も視野にいれて充実した活用になっているのか聞いてみたい。

<小林委員長>

それでは論点として、一人一台の環境は整ったが、効果を上げるための環境は整っているのか、また、充実した活用になっているのか、としてよいか。

—全員了—

15:56

3 その他

<小林委員長>

事務局より、決算審査日程等を説明願う。

【事務局次長から、決算審査日程について説明】

<小林委員長>

今回は、9月20日（金）午前10時からの全体会に引き続き、午前10時30分から分科会を開催し、決算審査を行うのでよろしくお願いします。本日はこれで散会する。

散会 ～16:04